

## ▶ 第1章

# 動き出した尹錫悦政権の経済安保 ——日米韓基軸の先端技術協力

日本経済新聞社 政治・外交グループ部次長 前ソウル支局長  
恩地 洋介

### 【ポイント】

- ▶ 2022年5月に発足した尹錫悦政権が最も重視したのは米韓同盟の強化だった。経済安保に関する連携は大きな柱で、日米韓3カ国やインド太平洋地域でのサプライチェーン（供給網）協力を見据える外交を展開する。
- ▶ 韓国が強みを持つ半導体やディスプレイなどの技術を保護し、今後の成長をけん引する先端技術を育てる体制づくりを進める。政府に司令塔をつくり、戦略技術への投資や供給網の安定を主導する法整備を急ぐ。
- ▶ 外交理念が180度異なる保守と進歩（革新）の対立が深まる。革新系の野党は米国だけでなく中国との関係を重視する「バランス外交」を唱え、日米韓の連携強化には慎重だ。5年ごとの政権交代リスクは政策の持続に不確実性を与える。



注目データ

### 韓国政府が整備する経済安保関連法

戦略技術	国家戦略技術育成特別法
	国家先端戦略産業法
	産業技術保護法
供給網	サプライチェーン（供給網）基本法
	資源安保特別法
	素材・部品・装備特別法

注：2022年3月現在で国会審議中の法案を含む